

「全鍍連」 2021年7月号 巻頭言

全鍍連 副会長 神谷 篤 (葵巧研(有) 代表取締役社長)

「危機管理 想像力の重要性」



平素は全鍍連運営にご協力ご支援いただき心より感謝申し上げます。引き続きご指導ご鞭撻よろしくおねがいします。

さて前年度は世界的な感染拡大を見せるウィルスの蔓延対策の人流制限、移動制限により、ほとんど全鍍連らしい活動のできない状態でたいへん不本意な年でした。各事業所様も様々な制約や業務に影響があり、持って行き場のない不満に満ちた日々を送られたことと存じます。このウィルス発現からほぼ2年が経ちましたが今だ収束が見えません。膨大な情報を目にする毎日ですが実際何が起り、何をしたか時系列で再確認してみました。

年度	世界状況	国内状況
2019	中国武漢で原因不明の肺炎確認	
2020	新型ウィルス確認 武漢封鎖	中国春節観光客の大量来日 国会予算委員会「桜を見る会」追求 横浜入港クルーズ船内感染発覚 一部海外入国拒否 小中高休校 緊急事態宣言 宣言解除 移動緩和、飲食休業要請撤廃 GOTOキャンペーン開始 感染拡大ピークアウトと認識 GOTO東京開始
	WHOパンデミック宣言	
	ロシア中国ワクチン接種開始	ビジネス入国許可 感染再拡大
2021	アメリカ英国ワクチン接種開始	GOTO停止 非常事態宣言 全外国人入国停止 医療従事者ファイザーワクチン接種 非常事態宣言全解除 蔓延防止等重点措置 非常事態宣言 ワクチン接種開始 アストラゼネカ、モデルナワクチン承認

このように我が国の初期対応は非常に楽観的にとらえていた節があります。ぬるま湯に浸かりすぎた平和ボケ日本人特有の感覚なのかもしれません。しかし現実には日々影響が大きくなり降りかかってきた災害にただ右往左往していただいけのうに見えます。突発で経験したことのないことが起こるから非常事態であり、正しい対応などわかる訳もありませんが、あまり

にも危機意識が薄く無反応だった気がします。普段からの危機対応策、いわゆる危機管理がどれだけ重要かわかります。

私ども会社経営でも同じで「何も無ければそれで良い」くらいの意識で最悪事態を想定しておくべきでしょう。毒劇物を扱う業種のため台風、大雨、地震といった自然災害や盗難、火事等に対しては気を配ってきたつもりですがこのようなウイルスや伝染病のことは意識から抜けていました。まだまだ完全な収束には時間がかかると思いますが個々人にできることをしっかり対応したいものです。

組合員の皆様におかれましてはくれぐれも健康に留意され一日も早くこの状況が終息することを祈念いたします。